

令和5年度 第3回学校運営協議会議事録

校名	府立河南高等学校
校長名	仲谷 浩

開催日時	令和5年3月26日(木) 15:00～16:30
開催場所	府立河南高等学校 2階 校長室
出席者(委員)	仲谷校長、加藤教頭、寺田事務長、竹田首席、倉原首席、永田教諭
出席者(学校)	仲谷校長、加藤教頭、寺田事務長、倉原首席、永田教諭(進路部)
傍聴者	なし
協議資料	令和5年度学校経営計画および学校評価結果、令和6年度学校経営計画および学校評価、 今年度部活動の活躍、一般選抜からみられる本校の位置、2023入試結果、広報委員会総括
備考	

議題等(次第順)	
(1)現状報告 ①令和5年度学校経営計画および学校評価結果について ②令和6年度学校経営計画および学校評価について ③学校教育自己診断および卒業生アンケート結果について ④進路途中経過 ⑤今年度を振り返って 広報委員会より ⑥その他 (2)質疑応答	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
令和5年度学校経営計画および学校評価結果について、卒業生アンケートによる進路実現の満足度が74.3%であったことについて質問をいただいた。「学校が行ってきた様々な進路指導の取り組みに満足している」という質問に対して肯定的な意見が74.3%であった。「進路実現に向けた自分の努力に満足しているか」という質問に対しての肯定的な意見が71.1%であったことを報告した。卒業生の4分の1が満足していないことなので、この結果を分析して、80%以上になるように努めてほしいとの意見をいただいた。また、「河南高校での3年間の満足度？」という質問に86.2%の肯定的な意見があったことについて、河南動と学業の両方に努力している結果であるとの意見をいただいた。令和5年度学校経営計画および学校評価結果と令和6年度学校経営計画および学校評価について、全員一致で承認していただいた。令和6年度大阪府公立高校入学者一般選抜から見える「本校」の位置の資料報告で、南河内の高校がほとんど定員割れを起こし、その中で、前年より受験生が増えたのは河南高校と藤井寺工科高校だけであった。受験生が増えたことは、部活動の活躍や広報活動の結果であるとお分析であったが、所得制限のない授業料無償化の影響は大きい。中学生とその保護者の意見では、やはり学校訪問での印象が大きく、校舎が立派で見た目がいい、自由でアルバイトもできる私学が人気であるとのことでした。この授業料無償化の影響で公立高校はすたれてしまうのが心配しているとの意見をいただいた。先生方も声を上げてこの状況を伝えてなければならないとのアドバイスをいただいた。	

次回の会議日程	
日時	
会場	